

自治労京都府本部 中央委員会 報告

― 当面の闘争方針と役員の補充が承認された! ―

二〇一六年二月五日(金) ウィングス京都会議室で第一六四回中央委員会が開催された。

二十一単組から代議員四〇人が参加し、京交からは、七人が参加した。冒頭、高橋直樹執行委員長が、中央で提案された春闘方針について触れられ「非正規雇用の改善を連合とともに運動展開させる。また、遅れている給与条の年内実施に向けた取り組みを強化する」と述べられた。結びに夏の参議院選挙の勝利を祈念され挨拶に立たれた。続いて、報告事項として①一般経過報告②二〇一六年度一般会計、特別会計決算報告がされた後、中間監査報告がされ、それぞれ承認がされた。次に議案提案に入り、第一号議案では、十一項目の運動方針が提案され、春闘では、非正規労働者の主体的な取り組みを促進させ「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現や労働者保護ルールの改悪阻止をし、また、引き下げられた給与水準の改善を求めると提案がされた。第二号議案では、役員補充が提案された。議案に対する質疑、討論がされた。採択に入り全て承認された。その後、闘争宣言が提案され、承認され、最後に団結ガンバロウを行い中央委員会が閉幕した。



議案提案をされた岡本哲也事務局長



挨拶に立たれた高橋直樹府本部執行委員長



京都交通労働組合

電話(075)841-0948

発行者 瀬戸高志

編集者 梅田涼

団体交渉報告

H28年度予算について説明を受け、現場の最善線で活躍する組合員の労苦に応える士気向上策として労働条件や職場環境の改善を強く求めた!

二〇一六年二月十六日(火) 天神川三階会議室で団体交渉が開催された。議題として平成二十八年度予算概要について説明がされた。自動車事業については、①利便性の向上を積極的に推進②一日当たり三十五万三千人の旅客数③経常損益六億円の黒字確保とし、高速鉄道事業では①経営健全化計画の推進②一日当たり三十七万三千人③経常損益四億円までの赤字縮小とし、それぞれの重点項目が説明された。佐田悟書記長が「攻めの経営を謳う中、労使結東が実を結び利益剰余金が三十四億円にまで拡大しているが、今後どうのように活用していくのか。また、平成二十九年四月に想定される消費税の増税について、運賃への転嫁により好調な流れを腰折れしないよう、先を見据えた取り組みを求める。併せて人材確保と育成や組合員の労苦に応える士気向上策について要望する」とされた。また、中谷文明副執行委員長が「好調な旅客数ではあるが観光客がかなりのウエイトを占めている。観光客は情勢への影響を受けやすい。通勤、通学など日常で使う利用者への投資を行うように求める」と発言した。当局からは、「利益剰余金については、バス車両の購入費や高速鉄道事業の財政支援を行い安定した経営に向けた新たなスキームを検討したい。また、その他の要望についても職員のモチベーション向上に繋がるように努力し検討したい」と回答がされた。続いて、山本保自動車部長が「バス待ち環境の改善も良いが、現場では、乗降に不便を掛けているバス停が多くある。兼ねてから要望しているが、予算の関係上進捗が見られない。早急に対応をお願いする。また、四条通りの渋滞対策を流入抑制など具体的な案を示すよう求める。併せて渋滞の原因とされる乗降について均一に区間拡大とともに乗車方式の変更について検討してはどうか」と意見した。当局からは「問題を把握し対応したい。乗車方式の変更については多区間も残っており混乱を招く恐れがある。引き続き研究したい」と回答された。最後に、瀬戸高志執行委員長が「要望した事項の早急な対応を求める。遅延により一部区間で利用者が減少している。現場の声を尊重し、前向きに検討をお願いしたい。また、歩道拡幅が凍結した東山地域において観光施策の目玉として、BRTの導入など先を見据えた計画を強く要望する」とされた。当局からは「諸課題について引き続き対応を考える。ご理解願いたい。」とされ、団体交渉が閉会した。



～団体交渉に臨んだ京交執行部～

2年連続接客態度優秀者1級が誕生!

西賀茂営業所 藤田羊一運転士

2016年1月28日(木)天神川大会議室で接客態度優秀者表彰が行われました。

制度が作られてから、昨年初めて1級表彰者が誕生し、2年連続の快挙です。西村隆公営企業管理者から西賀茂営業所、藤田羊一運転士に賞状が授与されました。おめでとうございます。

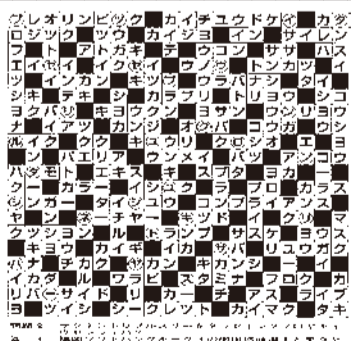


接客態度優秀者制度とは

- | | |
|----|--|
| 3級 | 感謝表明や適切な対応など接客態度が優秀であった場合。 |
| 2級 | 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、3級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が3級表彰を過去に複数回受賞している場合。 |
| 1級 | 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、2級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が2級表彰を過去に複数回受賞している場合。 |

当選者氏名(敬称略)

「お年玉賞」商品券3000円分
馬淵美紀子(東西線乗務支部)
吉田 貴将(東西線乗務支部)
長浜 純央(本局支部)
和久田 聡(烏丸線乗務支部)
濱口 忍(駅務支部)
川端 勉(梅津支部)
宮崎 一樹(電整支部)
山本 恒生(電整支部)
池田 敬三(電整支部)
室谷 和彦(電整支部)



クロスワードパズル
新春お年玉クイズ解答

第4回電車部甲乙全体会議報告

2015年度部会要求事項回答書について
竹田乗務区・竹田検車区の仮眠室個室化が大きく前進!

二〇一六年一月二十七日(水) 局庁舎三階大会議室で甲乙全体会議が開催された。冒頭、山本登志一理事の挨拶があり、甲側より回答が読み上げられた。続いて、辻井啓典電車部長が「コトチカ御池がグラブンドオーンし、今後は京都駅南エリアの駅ナカが進められる。駅ナカビジネスは増収・増客において重要な役割を果たしており、乙側としても積極的に協力していきたい。その際には、現場の職員の意見をしっかりと反映していただきたい。今回の要求事項には、施設改善に関する要望が多かったと思うが、お客様に対してトイレの美化・駅・車内の適正温度など、生理的要求を満たすことは最も原始的ではあり、効果的なサービスと考えられる。また、職場環境において



挨拶に立った辻井啓典電車部長

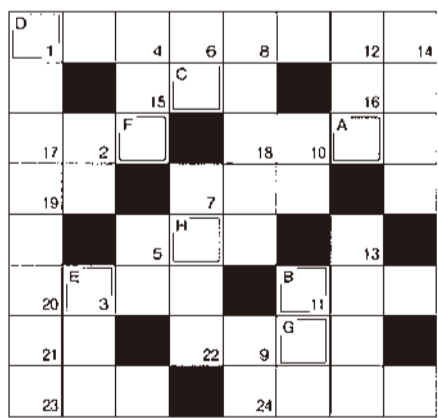
も老朽化した施設の改善は私たちの切なる願いである。厳しい財政状況は理解できるが、その中で精一杯の対応をお願いしたい。最後に、人材育成の必要性は甲乙共通の認識であり、今後どのようなことができるのか議論してまいりたい。また、お客様が増えている状況で、対応が難しくなっている事実もあり、どのような問題があり、どうすれば解決できるのかも議論してまいりたい。これまでの枠組みにとらわれない制度・体制作りを進めていきたい。」と挨拶に立った。日々サービスの向上や増収に取組んでいることを踏まえ、今回は質・量ともに今までにない部会要求であり、経営健全化計画の厳しい財政状況のなか、前向きな回答を得られたことは、組合員の努力した結果である。今後も甲乙協力して地下鉄を発展させることを確認した。

【電車部会要求事項回答書については別紙参照】

文化体育事業「京友禅体験と京都国際マンガミュージアムに行こう！」に潜入取材

39家族129人が京都の伝統文化を体験！
京友禅のハンカチ作りやマンガの歴史に触れ充実した一日を過ごした！

二〇一六年二月十四日（日）二〇時三〇分京都府京都市中京区小川通御池南にある京友禪を体験できる施設「丸益西村屋」に三十九家族一二人が集合し、ハンカチ作りを体験しました。四つのグループに分かれ作業手順を学びました。ハンカチ作りは、動物や植物。京都の伝統的な文化のお寺や舞妓さん。アニメのキャラクターなど、あらゆる分野の型枠が用意されており、それを好みに選択し、白い布にあてがい型枠に沿って特殊な塗料を刷毛で薄く重ねて作り上げます。複雑なキャラクターは、数枚の型枠を重ね合い仕上げます。最後にアイロンで熱を加えることで塗料が固定されるので自宅に持ち帰り完成させます。参加者は、塗り絵感覚で作業に没頭し、個性豊かな作品を製作していました。そして、作業を終えると今度は、マンガミュージアムに移動しました。このミュージアムは、博物館的機能と図書館的機能を併せ持った、新しい文化施設です。保存されるマンガ資料は、明治の雑誌や戦後の貸本などの貴重な歴史資料や現在の人気作品、海外のものまで、約三〇万点ののほりです。（二〇一五年現在）。その他にマンガに関するワークショップやセミナーなども開催されています。また、建物は、元龍池小学校の昭和四年建造（一部除く）の校舎を活用し、当時の佇まいを残しており趣のある会館です。参加者は、木造の廊下を踏みしめながら、好きなジャンルのマンガを手に取り時間を忘れて読書を楽しんでいました。



■ AからHまでの文字をつなげてできることは...

24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 11 7 5 1
 (ヨコのカギ)
 水路を案内する人
 人形
 貸付金
 油
 ↑ ↓ ホット
 ドッグ
 木乃伊
 しあわせ
 プリッジ
 胡瓜
 ○○、良、可
 ああ、○○○○は、君に輝くよ
 はかないこの世
 人形などをぜんまいや歯車で動かす仕掛け

脳を鍛える クロスワードパズル

「クロスワードパズル」のコーナーです。

ちよっと一息！頭の体操してみませんか？AからHまでの八文字をならびかえて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。

このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

締め切りは三月二十五日（金）必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

（タテのカギ）

1 ↑↑北半球
2 ストーン
3 ↑↓無機
4 チェリー
5 金・銀・〇〇
6 カギ
7 月桂樹

8 酒類の俗称
9 烏賊
10 さだめ
11 豆腐のしぼりカス
12 西洋式の小刀
13 合図のための片目のまばたき
14 レールを固定するために打つ大
きな釘

足名の神様 足王神社

二〇一五年十一月七日、八日にかけて岡山県に行ってきました。目的は、八日に行われる「岡山馬拉ソン」に参加するためです。その途中の山陽インタールから車で一〇分程のところにある足の神様がお祀りしてあるという「足王神社」に立ち寄ってきました。この神社は全国でも珍しい「足と手」専門の神社です。ちょうど訪れた時に神主さんがおられお話を聞けました。このお寺が建てられたのは一八五五年とまだ新しいのですが、祀られているのは「足名権命」「手名権命」という日本神話に登場する神様だそうです。その名の通り足の病にご利益があるそうです。毎月二十九日に「月並祭」という祭事があり全国からたくさんの方が参拝されるそうです。そして少し変わっているのが、本殿の下に「鎌殿」と呼ばれるところがあり非常にたくさんさんの「鎌」が奉納されていました。ここでは鎌は神聖なものとされ、「鎌で病の根を切る」という意味があるそうです、鎌を添えて祈願をするそうです。

そして、私が一番気になったのが入口で出迎えてくれた狛犬ならぬ「狛足？」です。さすがに少し怖かったです、こちらにもご利益があるということなのでたくさん触ってきました。因みにこちらは二代目だそうです。足王様のご利益があったのか岡山馬拉ソンも無事に完走することが出来ました。またみなさんも近くに行かれる機会があれば是非立ち寄ってみてください。

辻川 啓司 教宣部員

教宣部員のつぶやき

